



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 ムーンバット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8115 URL <https://www.moonbat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 鎌田 尚

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山本 聡

TEL 075-361-0381

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,306	14.7	530	366.8	539	214.9	545	257.2
2023年3月期第3四半期	7,241	32.8	113		171		152	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 537百万円 (339.5%) 2023年3月期第3四半期 122百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	119.28	
2023年3月期第3四半期	32.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	10,494	5,038	48.0	1,102.44
2023年3月期	10,330	4,555	44.1	987.73

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,038百万円 2023年3月期 4,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		6.00	6.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	8.6	400	250.8	450	155.1	500	255.7	109.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	4,774,719 株	2023年3月期	4,774,719 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	204,441 株	2023年3月期	162,407 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	4,576,707 株	2023年3月期3Q	4,707,802 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の上昇、為替相場の円安の進行及び物価の上昇等様々な不確実性はあるものの、新型コロナウイルス感染症の沈静化により、経済活動・消費動向の正常化・平常化が進み、回復基調にあります。

服飾雑貨業界におきましても、継続的な原材料価格の上昇に加え円安の進行による仕入価格の上昇はあったものの、新型コロナウイルス感染症の沈静化により人流が回復し、個人消費が堅調に推移したことから、百貨店・専門店を中心とした各販路の販売は好調に推移し、市況は回復傾向にあります。

こうした状況の下、当社グループにおいては、人流の回復に伴い各商業施設の集客が増加し、また、猛暑のプラス影響が、足許の暖冬のマイナス影響を上回り、季節商材を中心に各販路における販売が好調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。継続的な原材料価格の上昇に加え円安の進行による仕入価格の上昇はあったものの、各販路に対する最適な商品配置による効率的な仕入販売に加え、商品価格の一部見直し、プロパー販売の促進等により売上総利益及び売上総利益率も前年同四半期を大幅に上回りました。

当期が最終年度となる第1次中期経営計画に基づく経営方針より、引き続き成長領域である専門店・量販店等の販路拡大、Eコマース事業及び直営店事業である「+moonbat」（プラスムーンバット）等の小売事業の強化を推進し、継続的な新規商品の仕入の抑制による在庫圧縮、構造改革による販売管理費等の適正化に努めた結果、損益面も売上増加に伴う販売関連経費の増加を吸収し計画を大幅に上回りました。

その結果、連結売上高は83億6百万円（前年同四半期比14.7%増）、連結営業利益は5億30百万円（前年同四半期比366.8%増）、連結経常利益は5億39百万円（前年同四半期比214.9%増）となり、商品、原材料を含めた在庫につきましても前年同四半期比5億11百万円減少しました。特別損失として、上述の第1次中期経営計画の構造改革推進による物流部門の見直し計画に基づき、事業構造改善費用を80百万円計上し、また、当第3四半期連結累計期間及び今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当第3四半期連結会計期間に繰延税金資産を計上し、法人税等調整額（益）に1億58百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億45百万円（前年同四半期比257.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①衣服装飾品

衣服装飾品（毛皮・宝飾品部門）につきましては、富裕層のレジャー消費等の活発化により当社商品の引き合いが減少し、9月から11月の気温が例年に比べ高めに推移したことから、秋冬商戦の初動も遅れ、毛皮リフォーム・リメイク等のサステナブルな提案に注力したものの、売上高は前年同四半期を下回り、円安等による売上原価の上昇もあり、セグメント利益も大幅に減少しました。

以上の結果、衣服装飾品の売上高は5億23百万円（前年同四半期比2.4%減）、セグメント利益は37百万円（前年同四半期比44.4%減）となりました。

②身回り品

身回り品（洋傘・洋品・帽子部門）につきましては、新型コロナウイルス感染症の沈静化による人流の回復に伴い各商業施設の集客が増加し、また、天候にも恵まれたことから、季節商材を中心に各販路における販売が好調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。商品価格の一部見直し、プロパー販売の促進等の販売施策を推進することにより、継続的な原材料価格の上昇及び円安の進行による仕入価格の上昇も吸収し、セグメント利益も前年同四半期を大幅に上回りました。

洋傘部門につきましては、商業施設の集客の増加に伴い、雨傘を含めたレイングッズの展開、販売が好調に推移しました。また、猛暑の影響によりパラソルマーケットが活況を呈したことから、売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

洋品部門につきましては、9月から11月の気温が例年に比べ高めに推移し、秋冬物の販売が伸び悩んだものの、きめ細かな消費者ニーズへの対応、マーケット環境を考慮したサステナブルな提案等に注力した結果、売上高は前年同四半期を上回りました。

帽子部門につきましては、商業施設の集客の増加、気温が高めに推移したこともあり、各販路において販売が好調に推移し、一部ブランド品の人気も維持していることから、売上高は前年同四半期を大幅に上回りました。

以上の結果、身回り品の売上高は77億83百万円（前年同四半期比16.1%増）、セグメント利益は、6億58百万円（前年同四半期比229.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億63百万円増加して104億94百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が13億20百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が7億25百万円減少したこと、商品及び製品が3億11百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ3億19百万円減少して54億55百万円となりました。この主な要因は、電子

記録債務が1億89百万円増加したこと、返金負債が3億91百万円減少したこと、及び流動負債「その他」に含む未払消費税等が99百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ4億82百万円増加して50億38百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を5億45百万円計上したこと、自己株式の取得に伴い自己株式が26百万円増加したこと、及び繰延ヘッジ損益が17百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想は、当第3四半期の業績を踏まえ2023年8月10日に公表しました通期連結業績予想値を変更しています。詳細については、本日公表の「業績予想の修正、特別損失の計上、及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	891,399	2,212,109
受取手形及び売掛金	2,156,732	1,431,164
商品及び製品	2,714,401	2,402,886
仕掛品	5,601	3,253
原材料及び貯蔵品	72,788	73,727
返品資産	657,953	417,464
その他	158,637	197,661
貸倒引当金	△14,000	△9,000
流動資産合計	6,643,514	6,729,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	841,906	820,371
土地	1,677,738	1,677,738
その他(純額)	88,608	71,108
有形固定資産合計	2,608,253	2,569,217
無形固定資産	295,314	298,088
投資その他の資産		
その他	812,035	926,043
貸倒引当金	△28,201	△28,201
投資その他の資産合計	783,834	897,842
固定資産合計	3,687,402	3,765,148
資産合計	10,330,917	10,494,415
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	580,520	593,078
電子記録債務	141,573	330,977
短期借入金	2,700,000	2,700,000
1年内返済予定の長期借入金	78,286	23,268
未払法人税等	54,730	67,796
賞与引当金	62,014	40,106
返金負債	1,035,099	643,794
その他	492,135	427,788
流動負債合計	5,144,360	4,826,808
固定負債		
長期借入金	169,673	152,222
退職給付に係る負債	312,169	314,960
その他	148,992	161,970
固定負債合計	630,834	629,153
負債合計	5,775,195	5,455,962

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	2,856,206	2,856,206
利益剰余金	665,490	1,183,730
自己株式	△77,271	△103,988
株主資本合計	4,444,425	4,935,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,526	56,218
繰延ヘッジ損益	8,829	△8,634
為替換算調整勘定	37,573	46,915
退職給付に係る調整累計額	10,366	8,004
その他の包括利益累計額合計	111,295	102,504
純資産合計	4,555,721	5,038,453
負債純資産合計	10,330,917	10,494,415

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	7,241,442	8,306,377
売上原価	4,476,161	4,811,483
売上総利益	2,765,281	3,494,894
販売費及び一般管理費	2,651,614	2,964,327
営業利益	113,666	530,566
営業外収益		
受取利息	340	1,687
受取配当金	3,416	3,227
為替差益	38,602	—
不動産賃貸料	35,914	35,732
助成金収入	8,264	1,944
その他	5,307	4,573
営業外収益合計	91,845	47,165
営業外費用		
支払利息	14,686	12,624
為替差損	—	6,882
不動産賃貸原価	16,482	16,780
その他	3,010	1,952
営業外費用合計	34,178	38,240
経常利益	171,333	539,491
特別利益		
投資有価証券売却益	10,352	—
特別利益合計	10,352	—
特別損失		
事業構造改善費用	—	80,000
特別損失合計	—	80,000
税金等調整前四半期純利益	181,686	459,491
法人税、住民税及び事業税	18,686	72,017
法人税等調整額	10,168	△158,438
法人税等合計	28,855	△86,421
四半期純利益	152,830	545,913
(内訳)		
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	152,830	545,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,747	1,691
繰延ヘッジ損益	△42,130	△17,463
為替換算調整勘定	10,797	9,342
退職給付に係る調整額	△2,042	△2,362
その他の包括利益合計	△30,628	△8,791
四半期包括利益	122,202	537,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,202	537,122
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	衣服装飾品	身回り品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	535,932	6,705,510	7,241,442	—	7,241,442
計	535,932	6,705,510	7,241,442	—	7,241,442
セグメント利益	67,859	199,668	267,527	△153,860	113,666

(注) 1. セグメント利益の調整額△153,860千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	衣服装飾品	身回り品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	523,054	7,783,322	8,306,377	—	8,306,377
計	523,054	7,783,322	8,306,377	—	8,306,377
セグメント利益	37,746	658,243	695,990	△165,423	530,566

(注) 1. セグメント利益の調整額△165,423千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。